

活雪レポート

西和賀町雪国文化研究所

(岩手県西和賀町)

雪と共存し活用する地域づくりの拠点

雪の造形写真家でエッセイストとしても知られる高橋喜平氏(故人)が初代所長。雪質雪量調査や、雪冷熱利用の普及の他、雪国の文化や自然を調査するなど、雪国に関連した幅広い分野の研究に取り組んできた。

研究成果は町づくりや生涯学習の場で活用の他、マスメディアを通じて情報発信している。



雪国文化研究所

■雪に関する研究

研究所敷地内での冬期積雪観測、西和賀町の最大積雪深頃の雪質雪量調査と積雪分布調査、カタクリ群生地での融雪観測などを実施してきた。最近では、町の花であるカタクリの群生地における積雪深を写真付きで町のホームページに公表して、観光情報となっている。

雪を資源として活用するため
の研究では、雪の保存に関する
こと、冷熱を活用できる事例開
発、コスト低減に関することな
どに取り組んでいる。最近の成
果として、昨年は高品質の薪を
雪で除湿して生産する実証試験
を行った。今年には春から夏にか
けて、地元他に、首都圏のイ
ベントにも西和賀で保存してい
た雪を届けることができた。

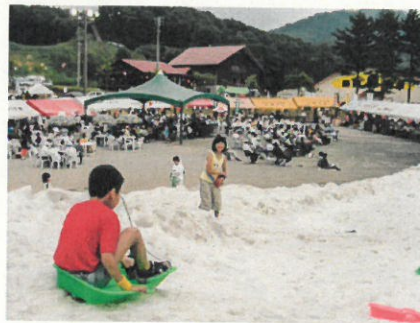
■雪国の文化に関する研究

豪雪地帯の西和賀地方で先
人が暮らしてきた知恵や技術、
あるいはそれを支えた自然環境
の特性を科学的に記録してきた。
様々な研究テーマにより蓄
積している資料は、西和賀エコ
ミュージアムが毎年発行してい
る小冊子の原稿データに活用し

ている他、各種講座の講師とし
て雪、雪国文化、自然などの講
話や、カンジキ体験、雪冷房体
験などの指導に活用している。

(西和賀町役場 企画推進課
雪国文化研究所研究員

小野寺 聡)



真夏の雪氷まつり



雪の搬出

西和賀町雪国文化研究所

町立の雪に関する総合的研究所。昭和 63 年に旧沢内村が設立。冬はカンジキによる雪上体験、夏は雪冷房の実験などが体験できる他、日本各地から集めた雪上歩行用具のカンジキと、雪や氷の自然現象を造形的に撮影した写真を常設展示しており見学可能。日本初のチップボイラー導入施設でもある。職員 1 名のため事前に連絡が必要。

岩手県西和賀町沢内字大野 17-140 TEL 0197(85)2179